

校訓

自主・友愛・飛躍

学校教育目標

自ら考え判断し、友と協力しながら、夢の実現に向かう生徒の育成

重点目標（校訓に沿った「めざす生徒像」）

自主

友愛

飛躍

- 素直なあいさつができる生徒
- 時と場に応じた言動ができる生徒
- 健やかな体と活力がある生徒
- 見通しをもって自主的に動く生徒
- 責任をもって、役割を果たす生徒
- 進んで課題を見つけ解決する生徒

- 自他の生命を大切にする生徒
- 誰にでも優しく、思いやる生徒
- 積極的に自分の考えを伝える生徒
- 友の意見や考えを大切にする生徒
- 言葉を選び、表現できる生徒
- 協働し、行事に参画する生徒

- 夢や希望を持ち、自己実現する生徒
- 進路実現に向けて努力する生徒
- 失敗を恐れず、挑戦し続ける生徒
- 困難に立ち向かい、鍛錬する生徒
- 向上心を持ち、諦めない生徒
- 地域や母校を愛する生徒

指導体制の充実

- 個別指導の充実（TT指導）
- 特別支援教育の充実
- 全職員による指導体制、学習環境の工夫
- チームによる授業づくりと検証の推進

教師の指導力向上

- 生徒理解のための研修
- GIGAスクール構想担当による研修・環境整備の推進
- 授業研究会の実施
- 研究会の情報共有

学習時間の確保

- 家庭学習の習慣化と強化
- テスト前の学習計画作成
- テストの訂正、再テストの徹底
- 個に応じた学習補充と課題の提供

基礎・基本の定着

- 基本的生活習慣の確立と授業規律の徹底
- ・学習訓「TOMACHI」の徹底
- ・「学習の手引き」の活用
- 自学タイム・スキルタイムの取組

思考力・判断力・表現力の育成

- 読解力育成を意識した取組
- 総合的な学習の時間の充実
- 聞く力、話す力の育成

学習意欲の向上

- 個に応じた指導
- ICT機器の活用
- わかる授業の工夫、改善
- ペア、グループ活動の工夫
- 家庭学習の習慣化

総合的な学習の時間

校訓にそった授業改善

- 「めあて」と「まとめ」を明確にし、主体的な「学び合い」を通してわかる授業の展開
- 自ら考え、自ら学ぶ生徒の育成

各教科

1. 「めあて」と「まとめ」が子供に届く授業
 - ・「まとめ」→「めあて」の順で授業を構想
 - ・子供の言葉を生かす
2. ねらいに即した「書く活動」を重視する授業
 - ・理由や根拠を明らかにして書かせる。
 - ・文章で考えさせる
3. 「学習規律の徹底」と「一人一人が存在感を実感」により安心して学べる授業

道徳
特別活動

数値目標：各種類学力調査において、全教科で全国（県）の平均を3ポイント上回る

国語科

- 非言語テキストなどの情報の扱いに慣れさせる
- 自分の考えを主体的に表現する場の設定

社会科

- プリント・AIソフトを利用した反復学習
- 復習プリントからの60%の定期考査への出題
- ICT機器を活用した教材の視覚化

数学科

- AIソフトの有効活用
- シンキングタイムの活用
- 数学用語の習得（数学スタンプラリー）

理科

- 実体験（実験・観察・実物）の充実と興味関心を高める
- 日常生活との動機づけ
- 表現力を高める（書くことから始める）

英語科

- 4領域を統合した言語活動
- 既習事項の反復学習
- 「書く」「話す」場面の設定
- 目的・場面・状況をふまえて、気持ちや意見を伝えあう言語活動の充実

戸町学習訓【TOMACHI】

T 提出期限を守る

O 落ち着いた態度で

M 目と耳と心で聴く

A あいさつは大きな声

CH 着席は2分前

I いきいきと発表